

会 議 録	
会議の名称	平成25年度第2回清須市行政改革推進委員会
開催日時	平成25年11月11日（月）午前11時
開催場所	清須市役所本庁舎 3階 大会議室
議題	1 開会 2 あいさつ 3 議事 (1)平成25年度行政評価の総括について 4 閉会
会議資料	会議次第 配席図 委員名簿 資料1 外部からの意見聴取（外部評価・試行） の実施結果について 資料2 外部からの意見聴取（外部評価・試行） の質号応答概要 資料3 外部からの意見聴取（外部評価・試行） を終えての意見等
公開・非公開の別 (非公開の場合はその理由)	公開
傍聴人の数 (公開した場合)	0人
出席委員	小出委員、近藤委員、佐野委員、高山委員、原田委員、 福田委員、前田委員、牧野委員、山田委員
欠席委員	建部委員、堤委員、山口委員
出席者（市）	市長、柴田企画部長
事務局	（企画政策課） 葛谷企画部次長兼企画政策課長、加納副主幹、岡田係長、 炭竈主査、小出主査
会議録署名委員	佐野委員、高山委員
<p>1 開会</p> <p>●葛谷次長 定刻となりましたので、ただ今から、平成25年度第2回清須市行政改革推進委員会を開催いたします。</p> <p>皆様には大変お忙しい中、ご出席をいただきまして誠にありがとうございます。私は、企画政策課の葛谷でございます。どうぞ宜しくお願いいたします。</p> <p>最初に、出欠状況のご報告をさせていただきます。</p> <p>本日は、建部委員、堤委員、山口委員が、所用のためご欠席でございます。</p> <p>それでは、会議次第に基づきまして、進めさせていただきます。</p> <p>初めに、加藤市長よりごあいさつを申し上げます。</p>	

## 2 あいさつ

### ●加藤市長

皆さま、改めましてこんにちは。

昨日ですけれど、秋の行事の一環で、毎年行っている消防団の観閲式、食育祭、それから介護の集いが行われました。介護の集いは、本当は11月11日の「良い日、良い日」として今日が「介護の日」ですけれど、日曜日に行くことで、前倒しにより昨日行われました。

正に、今日的な課題である防災、食育を始めとした健康の問題、或いは介護といった行事を通じて、みんなで考え学ぼうという集いがございました。大変、有意義な行事が重なったところでございます。

そういった中で、今日は行政改革推進委員会ということで、皆様方には、それぞれお忙しい中、ご出席いただきありがとうございます。

平素は、行政改革のことはもちろんですが、行政の進めております「安全・安心、そして快適で元気な清須」、このまちづくりに対しまして、何かとご支援やお力添えをいただいております。ありがとうございます。

今、いろいろな諸課題が市にあるわけですが、その一つとして、合併した町のメリットを最大限にしていくということで、旧町時代の公共施設を引き継いだ、そういったものの統廃合という課題があるわけです。

その中の一つとして現在進めておりますのは、「保育園の適正配置」、待機児童ゼロを継続していくための統廃合を進めております。まずは、春日地区のネギヤ保育園と夢の森保育園を統廃合していくということで、現在設計が進められております。

もう一つは、4つの学校給食センターがありまして、建築後30～40年経過して老朽化が進んでおり、国の定める衛生基準もやっと満たせるかどうかという学校給食センターの問題があります。9,000食ぐらいであれば、1つの学校給食センターとして稼働していけるとのことで、これらを統合することで、現在新しい学校給食センターの建設に着手しております。ご案内のとおり、清洲中学校の北側で建設を進めておりまして、来年の9月中旬に完成する予定で行われております。

また、もう一つは、本庁舎の増築ということでございます。

現在、西枇杷島庁舎には建設部が入っておりますし、清洲庁舎には健康福祉部が入っております。行政の機能が低下しているということと、もう一つは、東日本大震災を踏まえ、近い将来、必ず起こるだろうと言われております南海トラフ巨大地震にも対応できる危機管理を持った建物を備えるということです。震災が起こった時でも、行政サービスが継続できるような建物にしていかなければいけないことを兼ね備えて、本庁舎を増築する形で計画しております。これは、プロポーザル選定委員会を設置しまして、どこの業者に基本設計を委託するかということで進めております。良い案を募って、その中で1つの業者を決めていこうということです。既に2回ほど、委員会が開催されておりました業者が決まりました。近くに発表させていただきますが、これからは、その業者で本格的な基本設計に入っていきますので、こういった形で本庁舎の増築を行っていくのか、或いは、こういった形で本庁舎を改修していくのかといったことを進めていきます。予定では、平成28年度末に完成できればと考えております。

また、いろいろな誤解がありまして、先ほど申しました西枇杷島と清洲

の庁舎は、建設部と健康福祉部がそれぞれ入っております。

増築したら、新しい建物に配置するのか、現庁舎に配置するのかは分かりませんが、現在そういったスペースが無いものですから、増築することにしております。市民サービスセンターは、総合的な窓口として各分庁舎にございます。これは、それぞれの地区のどこかの公共施設に開設して、簡易な行政サービスを受けられる形にしていくことで進めております。

このようなことで、行政改革を進めているということでございます。

皆様方にお世話になっております行政評価は、行政が総合計画の目標達成のために様々な基準があるわけです。これについて、いろいろな角度から、議論をいただいたり、評価をいただいたりということで行っていただいております。私たちは、皆様方の貴重なご意見を今後の行政運営に反映させていかなくてはいけないというふうに考えております。

今日は、そのような議題でご協議いただくことになっておりますので、宜しくお願いを申し上げます、一言ごあいさつに代えさせていただきます。

●葛谷次長

ありがとうございました。

それでは、続きまして、当委員会の福田会長よりごあいさつをいただきます。

●福田会長

福田でございます。

平成25年度第2回清須市行政改革推進委員会にご参集いただきまして、誠にありがとうございます。

さて、今回の議題は、「平成25年度行政評価の総括について」ということで、事務局から説明してもらいます。

今年度、実施してまいりました「施策・事業評価シートの外部からの意見聴取」を含めて総括する内容となっております。皆様から忌憚の無いご意見を賜りたいと存じます。どうぞ、宜しくお願いいたします。

●葛谷次長

ありがとうございました。

それでは、ここからの議事進行を福田会長にお願いいたします。

3 議事

●福田会長

それでは、ここから私が会議の取り回しをさせていただきます。宜しくお願いします。

初めに、会議録署名委員の指名をいたします。

本日の会議の会議録署名委員は、佐野委員と高山委員にお願いしたいと思います。

それでは、議事に入ります。

本日は、「議事（1）平成25年度行政評価の総括について」を議題としております。

事務局から説明をお願いします。

〔事務局から説明〕

- 資料 1 外部からの意見聴取（外部評価・試行）の実施結果について
- 資料 2 外部からの意見聴取（外部評価・試行）の質号応答概要
- 資料 3 外部からの意見聴取（外部評価・試行）を終えての意見等

●福田会長

ありがとうございました。

ただ今、事務局から説明のありました議題につきまして、ご意見やご質問等がございましたらお受けしたいと思えます。

宜しいでしょうか。

牧野委員、どうぞ。

●牧野委員

資料 3 の③ごみ収集委託業務事業で、必要性に内容が書いてありますが、実際は有効性の「指標・目標等の設定は適切であるか」の欄に書くべきかと思えます。「指標・目標等の設定」に書いてあるものは、その下の「目標達成に向けた課題等を的確に把握しているか」の欄に書いていないといけません。上の必要性は削除して、有効性の「指標・目標等の設定は適切であるか」に書くべきではないでしょうか。

●福田会長

事務局、どうですか。

●岡田係長

企画政策課の岡田です。

ご質問でございますが、基本的には委員の皆さまからご提出をいただいたご意見をそのまま掲載をさせていただいております。

有効性の欄に同じ内容があるというご指摘でございますが、これを書かれた方が、同じ内容で記載してあったものですから、このような書き方になっております。こちらで、記載の仕方を重複しないように直させていただきます。

●牧野委員

必要性の「予算ベースで目標としていることが理解できない」とか、「ごみの分別処理の強化」という指標について、有効性の「指標・目標等の設定は適切であるか」という欄に書くべきことで、記載する欄を間違えたことだと私は思ったのですけどね。

だから、二重に書いてあるということではなくて、必要性の「市民ニーズ等を的確に捉えているか」というのは、本来何が記載されるのか分からないですが、有効性の「指標・目標等の設定は適切であるか」と内容を読んでもらえれば、内容はここに書いてある通りなんですけれども。

●岡田係長

提出されたものをこのような形でお示しをさせていただいております

が、今のご意見を踏まえて直させていただきます。

●牧野委員

私がそれを書いているわけで、まとめ方が違うという意味なんですが、有効性の「指標・目標等の設定は適切であるか」に書いたことが、必要性のところへ書かれているので、書いてある欄が違ってはいないですか、ということです。

●岡田係長

確認して、直させていただきます。

●福田会長

事務局で、再整理をさせていただくことで宜しいでしょうか。

●牧野委員

はい、分かりました。

●福田会長

その他、担当された以外でも結構でございます。

事務局から事前に資料は届けていただいておりますので、目を通していただいているとは思いますが。

全体会議の貴重な時間でございます。何かお気づきになられた点は、ございませんか。

●山田委員

山田でございます。

全部に当てはまるわけではないのかもしれませんが、何年かに渡った事業の長期的な計画の一つひとつに施策があって、計画を作る段階では、その目的を皆さん非常に一生懸命考えられて、練って作り上げているものであると思います。

しかし、こと評価になってくると、例えば、指標にしたいという大きな目標に対して、アプローチしていくものが1つあるとすると、それを行うための回数が形として事業の目標にはなると思います。ですが、それだけが目的になってしまって、「回数だけを費やすことが、この事業の最終目標になってはいないのか」と考えます。それが、指標の設定を考える立場が現場の末端になればなるほど、仕事として楽は楽なのかもしれません。

けれども、根本的には違うところでして、その辺の意識を部や課の方に、これから意識をさせるのか、そういうところに根本的な部分があると思います。評価となってくると、現場の人の評価としては、自分の与えられた仕事を回数や金額というものでしか図っていないのですから、そこに力点が置かれております。私どもがお聴きすることに対して、どうも視点と違ったコメントをされるケースも見受けられました。

私の方でやらせていただいた「道路改良事業」は、目標がしっかりしていて、目にも見える、報告もしっかり上げられる状況であるがために、積み重ねながら仕事をしている方たちばかりなので、説明についてもはっき

りしています。指標の書き方が間違っていれば、ご自身ではっきり認識されていた部分もあったのですが、やはり視点がずれている方と話をしても、すれ違いの話ばかりになっているので、そのあたりはどうかかなというのが今回行った印象です。

● 福田会長

担当の方は、どうしても自分の守備範囲でお話されるものですから、その間の考え方の違いというのを委員の皆さんがお感じになられたということでしょうね。他の委員さんでも、自分が担当したところでそのように感じられたでしょうか。担当の方は、専門で詳しいですから守備範囲でお話され、委員さんはマクロの視点から見ていただきますので、こういう差は出てくるのかと思います。私自身も感じてはおりまして、他の委員さん方いかがでしょうか。

● 岡田係長

企画政策課の岡田です。

資料のご意見にもあった話ですが、質問する側と回答する側との意識の差というか、認識の違いという点についてあったと思います。今回、試行的に行っておりますけれども、今後、事前に質問票の用意等を行って、委員の皆さまにまず質問票を書いていただいて、それに対する回答を担当課からさせてもらうといった工夫も考えてまいりたいと思っております。

こういったことを繰り返しながら、検討や見直しを行っていく中で、数年掛けてでも評価の仕方というものをシステムとして確立していきたいと考えております。宜しく申し上げます。

● 福田会長

山田委員、宜しいでしょうか。

● 山田委員

はい。

● 福田会長

高山委員、どうぞ。

● 高山委員

高山でございます。

企画政策課にも書面で感想文を提出させていただいたところです。

今回、一律の施策・事業評価シートとなった項目でしたが、例えば、国や県から補助がある事業だったり、全部市の持ち出しで行う事業であったりすると、考え方や質問の仕方も違ってこないといけないと思います。

まずは、そういったいろいろな分類をしていただいた上で、質問シートの検討から始めていったらどうかと、そんな気がします。

● 岡田係長

企画政策課の岡田です。

事前に、高山委員から感想ということでもいただいております。

その点につきまして、法令に基づいてやらざるを得ない事業と、国や県が補助金を出している事業、また他の市町村や他団体と連携を行っている事業、そういった区分で行ったらどうかというお話でございました。

施策・事業評価シートは、市民の方にも公表していく話でもございますので、今後工夫していかなければならないと考えております。また見直しを行っていきたいと思っております。ありがとうございます。

●福田会長

他にご質問ございませんか。

(特になし)

ご意見等も無いようです。

これで議事(1)を終わります。

それでは、先に進めさせていただき、3のその他として、事務局より発言がありますので、宜しくお願いします。

●葛谷企画部次長

その他ということで、1点、皆さまにお知らせをしたいことがございます。

当委員会の委員の皆さまの任期でございます。

皆さまの任期は、今月の30日で任期満了となります。新しい委員による次回の委員会等は未定で、今後検討していく予定でございます。

また、時期がきましたらご連絡をして、皆様のご意向を伺いたいと考えておりますので、宜しくお願いします。

以上でございます。

●福田会長

ありがとうございます。

今日が、皆さんの任期での会議も終了となるわけです。

これまで協議していただいたものの焦点が定まって、内容を前進させるためのご意見等も頂戴できましたので、事務局で再整理していただきます。今日が、全ての結論ありきではございませんので、これまでのところで集約できたものについては、事務局の方々、本当にご苦労様でございました。

委員からご指摘いただいた点を少し整理し直して、次に進めていただきたいと思います。

本日、予定されていた議事はこれで終了しました。

佐野委員、どうぞ。

●佐野委員

佐野でございます。

今日は、市長さんにもご出席をいただいて、お話を聞くことができました。ありがとうございます。

また、資料を見せていただき、私たちが発言したこともしっかりとまとめていただいていると思って読ませていただきました。ありがとうございます。

1点、お尋ねをします。市長さんの話にもありましたように、合併してから公共施設のあり方もこの行政改革推進委員会で様々な議論をしてまいりました。この度の庁舎の再編や増築、体育館の取壊しの件については、8月28日の非公開で行われた外部からの意見聴取の休憩時間に、次長から1枚資料をいただいて「こういうことになります」という、報告をいただいたんですね。

行政改革が、どういったものかということ最近自分なりに考えておりまして、今後も水面下で様々に進められたことを結果報告として聞くということが、この行政改革推進委員会なののでしょうか。この行政改革推進委員会のあり方とか存在意義について、気に掛かることがありましたので、その当たりのご意見はいかがでしょうか。

●葛谷次長

貴重なご意見ありがとうございます。

今回の公共施設の周辺整備に当たっては、公共施設のあり方基本方針の中で、このようにしていくという方針を示しております。但し、時期がいつになるかということは、ある程度の方向性を示したいということで、皆さまにお知らせをしました。現在、どの時点でということも正式に決まっておられません。この時期にこういった方向性で進めていくということのご報告をさせていただいたという経緯でございます。

こういったことは、市民の方にしっかりと報告しながら進めていかないといけない事業であると思っておりますので、それを踏まえて進めていきたいと考えております。以上でございます。

●福田会長

宜しいでしょうか。

本日の議論は、これで終了したいと存じます。

それでは、事務局へお返しします。

●葛谷次長

本日は、ありがとうございます。

以上で予定されておりました議事は、全て終了いたしました。

これを持ちまして、委員会を終了いたします。どうも2年間ありがとうございました。再度お願いする方もいらっしゃるかもしれませんが、宜しく願いいたします。

4 閉会

( 時に午前11時43分 閉会 )

問い合わせ先

企画部 企画政策課

052-400-2911

会議の経過を記載して、その相違ないことを証するためここに署名する。

会 長 福 田 清 彦

署名委員 佐 野 富美子

署名委員 高 山 孝 治